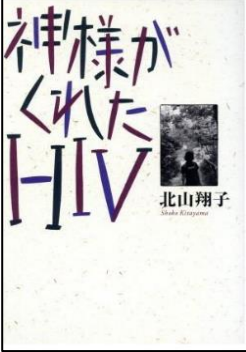




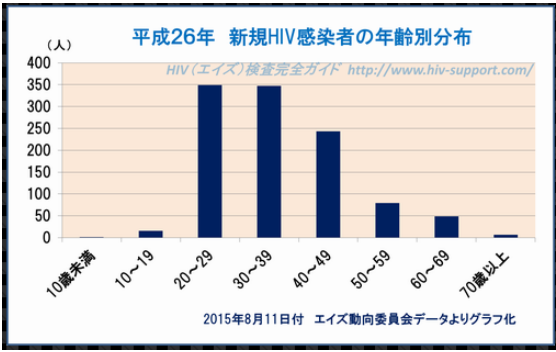
**あなたの周りにHIV感染者はいますか？**  
 こう聞かれると、多分、いないと答える人の方が多いだろう。それよりも、こんな病気は自分には関係ないと思っている人がほとんどかもしれない。  
 実はそこに、この病気の落とし穴があると私はつくづく思う。HIV感染者は、HIVと印をつけているわけではなく、自分からその病気と言わない限り、他の人には分からないからだ。

**「神様がくれたHIV」北山翔子 著**



3年次生には紹介したことがあります。上記で紹介した本の著者は保健師さんです。感染症や病気の知識がありながら、彼女はHIVに感染しました。結婚を考えた、愛する人からの感染でした。(興味のある人、この書籍、保健室にあります。)

この本は私にとって衝撃的でした。もし、あなたが愛する人だったら？もしあなたがHIVの感染を受けた人だったら？そして、家族がそうだったとしたら？自分のこととして是非考えてみて欲しい。その時あなたはどんなことを考えますか？



HIV感染→エイズ発症は防げる病気です。日本では毎年1500名前後、新たなHIV感染者・エイズ患者があり、全部合わせて3万人に迫る勢いです。

中でも、左のグラフにあるように、20~30代の感染者数が多い状況です。あなたたちもあと数年後には20代になるのです。決して、他人事ではありません。

**性的感染**

コンドームを使わないセックスなどで粘膜や小さな傷から感染

**血液感染**

注射器の共用による回し打ちや、医療現場での針刺し事故など

※現在、国内では輸血での感染はほとんどありません

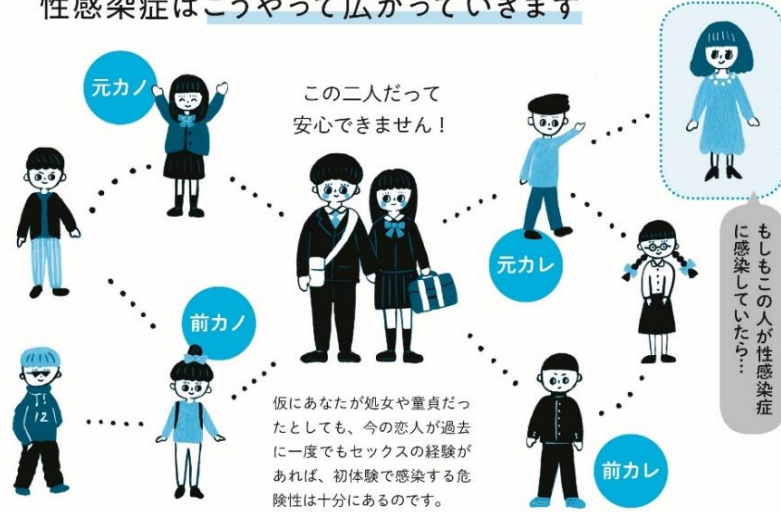
**母子感染**

胎内で、あるいは出産時の産道、母乳から感染

早くに感染していることが分かれば、今の医療では母子感染を防ぐことができます。今は、妊婦健診でHIVの検査があります。

### なぜ、感染が広がり続けているのか？

元カレ、元カノ、その元カレ、元カノ…もしも自分の知らない誰かが感染していたら…  
性感染症はこうやって広がっていきます



HIV は多くは性交で感染するため、性感染症のひとつとされています（ビックエイトのひとつ）。

今話題になっているのは、自分がHIVに感染していることを知らずに（著書の彼はそうでした）結婚し、妊娠してから、検診で突然に感染が分かる。といったものや、体調が悪いから病院でみてもらったら、エイズを発症して

いたという「いきなりエイズ」が多くなっているそうです。こんなことにならないためにも、HIV 感染が心配だと思ったら、無料で匿名で（名前を言わずに）保健所で誰もが（年齢や性別に関係なく）検査を受けることができます。

【検査を受けるには、まず電話で予約が必要です】（後志管内で受けられる場所）

- 倶知安保健所 0136-22-2279
- 小樽市保健所 0134-22-3110

- ① まずは電話で「エイズ検査を受けたいのですが…」と言う。
- ② 検査の日時と検査番号を教えてください。
- ③ 指定された日時に、指定された受付場所へ行って、検査番号を伝えま
- ④ 検査を受けます。（血液を少し採ります）
- ⑤ 結果を聞きます。

コロナ禍の現在、残念ながら休止中。

**こんなことでは感染しません!**

**HIVは非常に感染力の弱いウイルスです。普段の生活の中では感染することはありません。**

←こんなことでは感染しません!

今や、特別な人がかかる特別な病気ではないので、もし、自分が感染者になったとして、心なく差別をされたらどう感じるだろう…?

HIVに感染してしまっても、完治（完全に治すこと）はできませんが、薬で病気をコントロールし、いつもの生活を送ることができるほど、医学は進歩しています。